

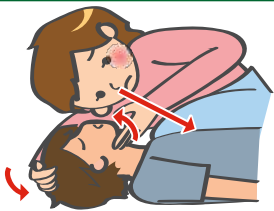
5 救急蘇生を行う時は

子どもの呼吸や心臓の動きが悪くなり、呼吸停止や心肺停止になったときはただちに救急蘇生【胸骨圧迫（心臓マッサージ）と人工呼吸】が必要です。

大声で呼びかけても反応がなく、ぐったりしている

応援を呼ぶ 119番通報 AED（電気ショックによる救命装置）依頼

気道を確認し、呼吸状態を把握する



- ・胸が動いているか
- ・呼吸する音が聞えるか
- ・はく息を感じるか

呼吸している

安静にし、
救急車の
到着を待つ

図 1

呼吸していないか
呼吸しているかどうか判断できない

胸骨圧迫（心臓マッサージ）を開始

- 強く【成人では 5～6cm の深さ。小児では胸の厚さの約 1/3】
- 早く【100～120 回 / 分のテンポで】
- 絶え間なく【中断は最小限にする】
- 胸骨圧迫 30 回ごとに 2 回人工呼吸を加える

図 2

人工呼吸を開始

- 乳 児 口と鼻を大人の口でおおい、息をふきこむ。胸が膨らむことを確認
- 1 歳以上 おでこに当てた手の指で鼻をつまみ、口から息をふきこむ（1 秒程度）

図 3

胸骨圧迫 30 回 → 人工呼吸 2 回 → 胸骨圧迫 30 回 → 人工呼吸 2 回 → 3～5 サイクル
1 サイクル 2 サイクル
5 サイクルを 2 分間で実施

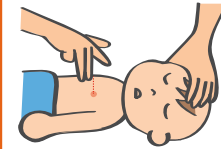
AED が到着したら

AED を使用 必要であれば AED 使用をくり返す

図 4

救急隊に引き継ぐまで、心肺蘇生を絶え間なく続ける。
咳き込みや払いのける動作があれば中止する。

図 2 胸骨圧迫（心臓マッサージ）



新生児・乳児



小 児



6 歳以上

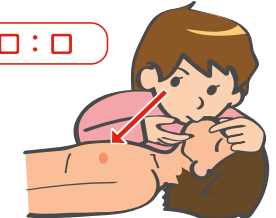
図 3 人工呼吸

□：□鼻



乳児

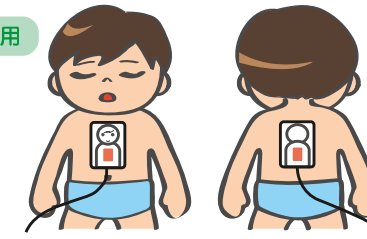
□：□



1 歳以上

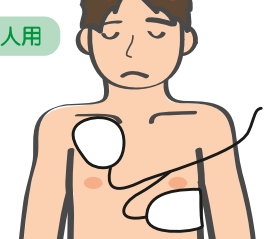
図 4 AED の使用方法

小児用



小児用パッドの貼り方
（胸と背中）

成人用



成人用パッドの貼り方
（鎖骨下と脇下 5～8 cm）

AED の使用（電源を入れ、電極パッド（小児用パッドがあれば、これを使用）を装着）

心電図の解析 機械が自動で解析。電気ショックは必要か？

必要あり ↓

電気ショック 1 回

その後直ちに胸骨圧迫と人工呼吸を再開（5 サイクル）

必要なし ↓

直ちに胸骨圧迫と人工呼吸を再開
（5 サイクル）

※消防署では、心肺蘇生法、AED 使用方法の救命講習会を行っています。
詳しくは、最寄の消防署までお問い合わせください。

※このガイドブックの内容は、あくまでも目安であり、一般的な内容となっています。

「子どもの救急・急病ガイドブック」

平成 28 年 7 月 初版 発行
平成 31 年 4 月 改訂
令和 2 年 4 月 改訂

監修 長野市医師会 更級医師会 長野市

編集 長野市小児科医会

発行 長野市